

スマートグリッドのための スマートグリッドによる雷害対策高度化

雷害対策手法に各地域の特性を反映した、コストパフォーマンスの良い雷害対策の提示

【代表者】 静岡大学・道下 幸志 教授
【共同研究者】 静岡大学・河本 映 准教授／愛知工業大学・箕輪 昌幸 教授
湘南工科大学・関岡 昇三 教授／岐阜大学・王 道洪 准教授

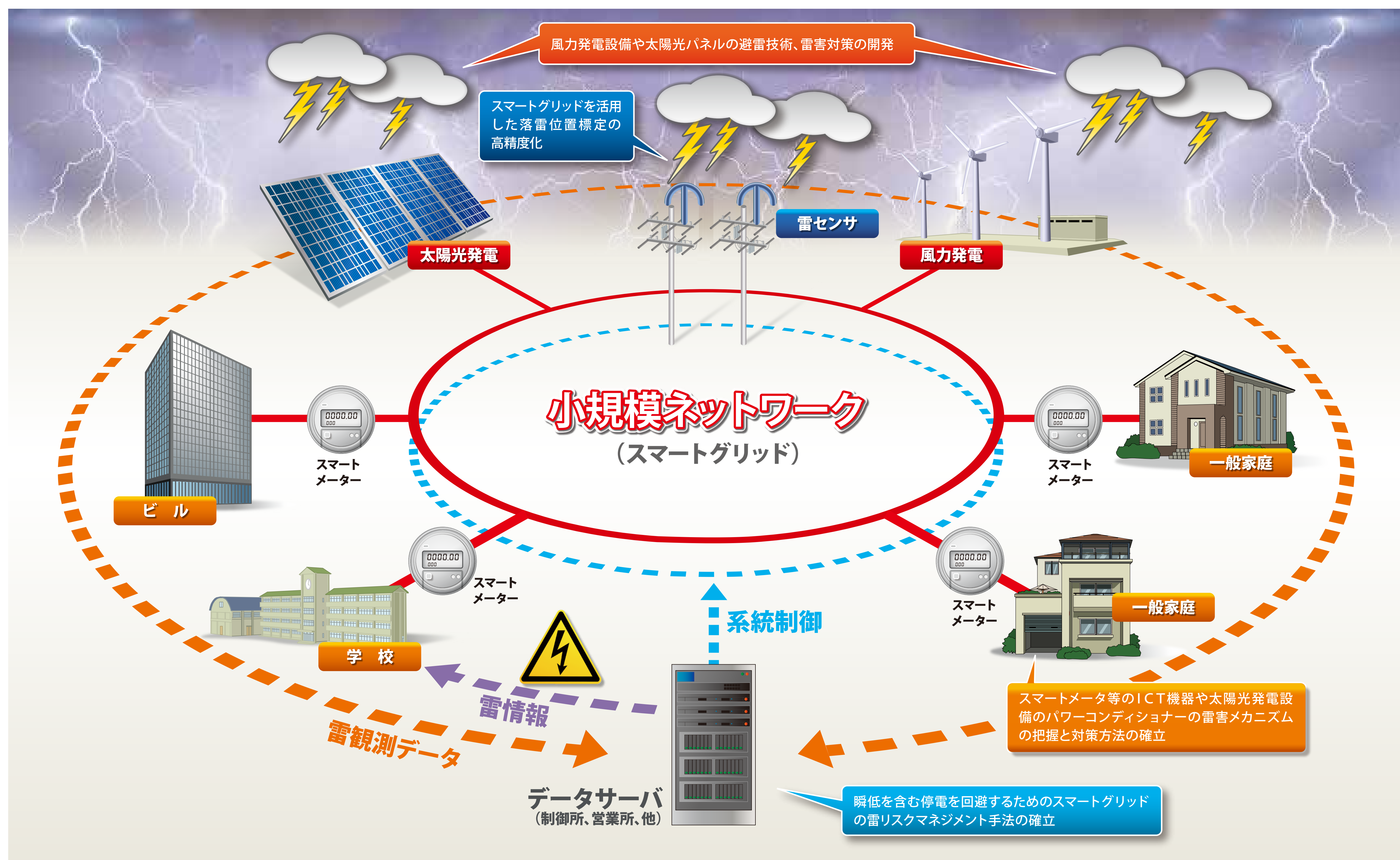
(所属・職位は採択当時のもの)

背景

- スマートグリッドやスマートメータにおける雷サージ対策の必要性
- 再生可能エネルギー発電において重要な位置を占める風力発電設備における甚大な雷害の発生

目的

- スマートグリッドの有効活用に伴う雷の影響を低減する手段の提言
- 従来の雷害対策や雷接近予知手法をさらに高度化するスマートグリッドの活用



自然エネルギー発電設備・
スマートメータの効果的な
雷害対策手法の確立

雷リスクマネジメント
(効率的な雷害対策)

落雷位置標定の高精度化・
雷観測データの収集

地域の雷特性の把握

スマートグリッドや再生可能エネルギーの信頼性向上により更なる普及へ